

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成28年8月4日(2016.8.4)

【公開番号】特開2015-3801(P2015-3801A)

【公開日】平成27年1月8日(2015.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-002

【出願番号】特願2013-130220(P2013-130220)

【国際特許分類】

B 6 5 H 7/02 (2006.01)

B 6 5 H 1/02 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 7/02

B 6 5 H 1/02

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月16日(2016.6.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シートを載置するトレイと，

前記トレイに載置されているシートを装置内に搬送する搬送部と，

前記トレイにシートが載置されているか否かを検知する検知部と，

制御部と，

を備え，

前記制御部は，

前記検知部の検知結果に基づいて，前記トレイにシートが載置され続けている時間である継続時間を取得する取得処理と，

前記トレイからシート搬送を行うジョブの開始指示を受け付けたことを契機に，前記継続時間が閾値時間を超えるか否かを判断し，前記継続時間が前記閾値時間を超えたと判断した場合に，前記トレイに載置されたシートのカールの影響を軽減する所定の動作を実行する軽減処理と，

を実行することを特徴とするシート搬送装置。

【請求項2】

請求項1に記載するシート搬送装置において，

前記制御部は，シートのサイズごとに前記閾値時間を切り替えることを特徴とするシート搬送装置。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載するシート搬送装置において，

前記制御部は，シートの種類ごとに前記閾値時間を切り替えることを特徴とするシート搬送装置。

【請求項4】

請求項1から請求項3のいずれか1つに記載するシート搬送装置において，

前記制御部は，装置の電源がオンになった時に既に前記トレイにシートが載置されていた場合，前記継続時間が前記閾値時間を超えたと判断することを特徴とするシート搬送装置。

【請求項 5】

請求項 1 から請求項 4 のいずれか 1 つに記載するシート搬送装置において，

前記制御部は，前記所定の動作として，シートのカールに関する報知を含むことを特徴とするシート搬送装置。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 5 のいずれか 1 つに記載するシート搬送装置において，

前記搬送部は，少なくとも 1 つの正逆回転可能なローラ対を備え，

前記制御部は，前記所定の動作として，前記ローラ対にシートの先端部を挟持させた状態での前記ローラ対の正逆回転を含むことを特徴とするシート搬送装置。

【請求項 7】

請求項 6 に記載するシート搬送装置において，

前記制御部は，前記継続時間が長いほど前記所定の動作での正逆回転数を増やすことを特徴とするシート搬送装置。

【請求項 8】

請求項 1 から請求項 7 のいずれか 1 つに記載するシート搬送装置において，

前記トレイは，水平方向に対してシートを傾けて載置するものであり，

前記トレイよりも水平方向に対するシートの傾斜角度が小さい第 2 トレイをさらに備え

，前記制御部は，前記所定の動作として，前記トレイから前記第 2 トレイへの，給紙を実行する給紙トレイの切り替えを含むことを特徴とするシート搬送装置。

【請求項 9】

請求項 1 から請求項 8 のいずれか 1 つに記載するシート搬送装置において，

前記制御部は，前記所定の動作として，前記搬送部によるシートの搬送速度の減速を含むことを特徴とするシート搬送装置。

【請求項 10】

請求項 1 から請求項 9 のいずれか 1 つに記載するシート搬送装置において，

前記制御部は，前記所定の動作として複数の実行項目があり，前記継続時間が長いほど前記所定の動作での実行項目を増やすことを特徴とするシート搬送装置。